臨床使用例

ABSOCURE WOUND®

粘着材層が崩れにくくなっています。

吸液後、ソフトな白色のゲルを形成・保持するため、交換時創傷部の洗浄・観察が容易です。

仙骨部褥瘡［75歳 男性 基礎疾患／動脈硬化症］

アブソキュア・ウンド貼付前
創:55mm×62mm

5日後

6週後 上皮化完了
肉芽形成・表皮形成著効
（この間8回交換）

胸部皮膚潰瘍（帯状疱疹後のびらん潰瘍）［44歳 女性 基礎疾患／慢性関節リウマチ］

アブソキュア・ウンド貼付前
創:40mm×20mm

19日後 上皮化完了
肉芽形成・表皮形成著効
（この間3回交換）

分層採皮創（左側胸部採皮）［35歳 女性 基礎疾患／座骨神経痛］

アブソキュア・ウンド貼付前
創:100mm×100mm

14日後 上皮化完了（この間1回交換）

ABSOCURE SURGICAL®

使用感を追求しました。

薄くすることにより、高い柔軟性と適度粘着性を併せ持っており、身体の屈曲部や可動部にもよくなじみます。
透明性を高めたことにより、貼付したまま、創部の観察ができます。

縫合創［5歳男性／頬部～鼻部上顎骨に達する裂傷］（縫合術、顔面神経縫合）

受傷直後

術直後（アブソキュア・サジカル貼付）

術後7日（この間2枚使用）

術後8ヶ月 瘢痕はきわめて軽減

Ⅱ度褥瘡［81歳女性／背部］

発生直後（創:27mm×18mm）

9日後（アブソキュア・サジカル貼付）

9日後

16日後上皮化完了（この間12枚使用）

Ⅱ度熱傷［12歳女性／膝部］

アブソキュア・サジカル貼付

4週後 上皮化完了（この間2枚使用）
約2ヶ月後瘢痕を確認したところ、きわめて軽微であった

製品一覧

アブソキュア-ウンド®

■高度管理医療機器　■二次治癒ハイドロゲル創傷被覆保護材
■JMDNコード:34082003　■承認番号:20600BZZ01078000　■γ線滅菌済

■規格・包装

創部の大きさに応じてお選びください。いずれも1枚ずつ包装、γ線滅菌されています。

品番	サイズ	入数／化粧箱	入数／外箱	保険算定面積／枚	JAN コード
2110	10cm×10cm	5枚	10箱	100cm²	4976006710730
2112	15cm×20cm	3枚	5箱	300cm²	4976006710747
2120	20cm×20cm	3枚	5箱	400cm²	4976006710754
2130	20cm×30cm	3枚	5箱	600cm²	4976006710761

■使用目的・効能効果

製造承認事項一部変更承認（平成13年8月20日）
皮下脂肪組織までの創傷（Ⅲ度熱傷は除く）に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。

■保険適用

種類 …… 特定保険医療材料
保険請求名 … 皮膚欠損用創傷被覆材
機能区分 …… 皮下組織に至る創傷用（標準型）
適用期間 …… 2週間を標準として、特に必要と認められる場合については3週間を限度とする。
保険請求 …… 償還価格による。

アブソキュア-サジカル®

■管理医療機器　■局所管理ハイドロゲル創傷被覆保護材
■JMDNコード:34082002　■承認番号:20800BZZ00572000　■γ線滅菌済

■規格・包装

創部の大きさに応じてお選びください。いずれも1枚ずつ包装、γ線滅菌されています。

品番	サイズ	入数／化粧箱	入数／外箱	保険算定面積／枚	
2201	5cm×10cm	20枚	5箱	50cm²	4976006711201
2202	5cm×20cm	20枚	5箱	100cm²	4976006711218
2210	10cm×10cm	20枚	5箱	100cm²	4976006711225
2212	10cm×20cm	20枚	5箱	200cm²	4976006711232
2220	20cm×20cm	10枚	5箱	400cm²	4976006711249

■使用目的・効能効果

製造承認事項一部変更承認（平成13年8月20日）
真皮までの創傷に対する「創の保護」「湿潤環境の維持」「治癒の促進」「疼痛の軽減」を目的とする。

■保険適用

種類 …… 特定保険医療材料
保険請求名 … 皮膚欠損用創傷被覆材
機能区分 …… 真皮に至る創傷用
適用期間 …… 2週間を標準として、特に必要と認められる場合については3週間を限度とする。
保険請求 …… 償還価格による。

●アブソキュア、ABSOCURE は日東電工（株）の登録商標です。
◆このカタログに記載の内容は、改良などの理由により、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

●詳細については添付文書をご参照ください。

●お問い合わせは
株式会社ニトムズ
TEL 0570-007-006　FAX 0120-210-679

●このカタログの内容は 2019 年 5 月現在のものです。

株式会社ニトムズ

NJ17・07050 NJ-007

Nitto
Innovation for Customers

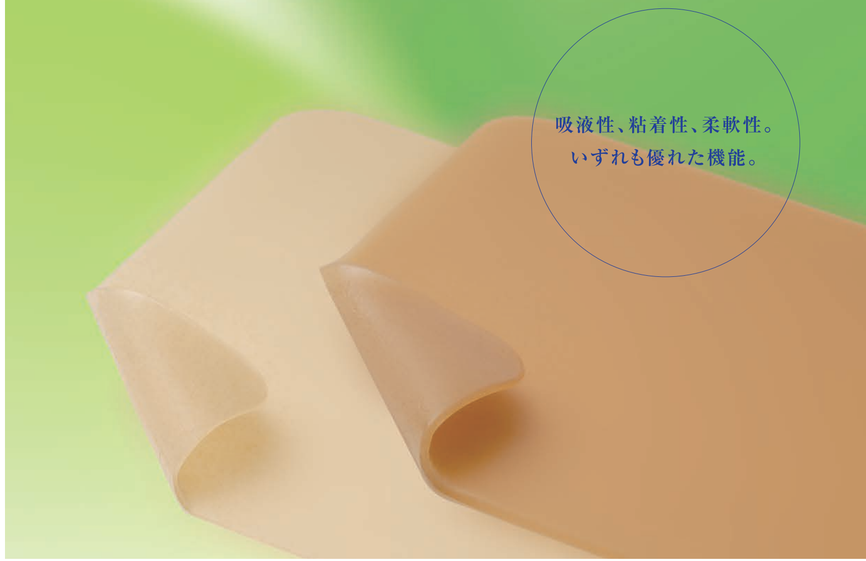
ハイドロコロイド ドレッシング アブソキュア®シリーズ

アブソキュア-ウンド®

ABSOCURE® WOUND　高度管理医療機器　医療機器承認番号 20600BZZ01078000

アブソキュア-サジカル®

ABSOCURE® SURGICAL　管理医療機器　医療機器承認番号 20800BZZ00572000



株式会社ニトムズ

創傷治癒の新しい概念“Moist Wound Healing”を実現。ハイドロコロイド・ドレッシング材。

創傷部における湿潤性を重視した創傷管理の考え方[1),2),3),4)]「Moist Wound Healing」。“アブソキュア-ウンド®”、“アブソキュア-サジカル®”は滲出液を吸収後粘着材層がゲル化することにより、創傷部を湿潤環境に保って治癒を促進。「Moist Wound Healing」を実現するハイドロコロイド・ドレッシング材です。

特長

1.創傷を保護し、感染を防止します。

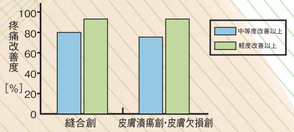
細菌感染、物理的刺激、痂皮形成など治癒を遅らせる外的要因から創傷部を保護します。

2.上皮再生を促進します。

痂皮の形成を抑制し、上皮組織の再生に適した湿潤環境を保つため、創傷治癒が促進されます。

3.疼痛を抑制します。

創傷部を被覆することにより、露出した神経終末への刺激を和らげます。



4.吸液性・粘着性・柔軟性にすぐれています。

滲出液の漏れが起こりにくく、粘着材層のはみ出しも少ないので、衣服を汚しません。

5.防水性があります。

失禁などによる汚染を防ぎ、貼付したままの入浴・シャワーが可能です。

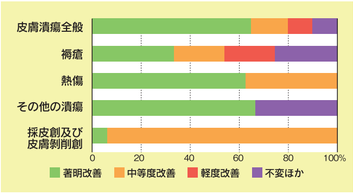
【関連文献】
1.G.D.Winter：Nature,193,293（1962）
2.C.D.Hinman et.al.：Nature,200,377（1963）
3.N.S.Gimbel et.al.：Arch.Surg.,74,800（1957）
4.A.V.Forage：Lancet.Ⅱ,690（1962）
5.滝川雅浩ら：皮膚科紀要 ,89,159（1994）
6.今村貞夫ら：皮膚科紀要 ,89,277（1994）
7.楠本健司ら：薬理と治療 ,24,179（1996）
8.小野一郎ら：西日本皮膚科 ,58,319（1996）

臨床使用実績

ABSOCURE WOUND®

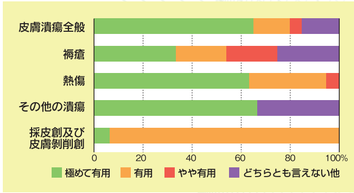
京都大学医学部付属病院皮膚科・浜松医科大学付属病院皮膚科をはじめとする19施設において、臨床評価を行いました。[5),6)]

図 1. 症例別における全般改善度



皮膚潰瘍全般では「中程度改善」以上が 80%、熱傷、採皮創および皮膚剥削創では全症例が「中程度改善」以上となりました。（n＝82）

図 2. 症例別における総合判定有用度

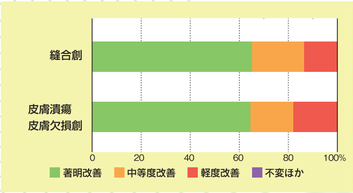


総合的有用度の判定では、皮膚潰瘍全般では「有用」以上が 80%、「やや有用」以上は 85%に達し、採皮創および皮膚剥削創では 100%が「有用」以上となっています。（n＝82）

ABSOCURE SURGICAL®

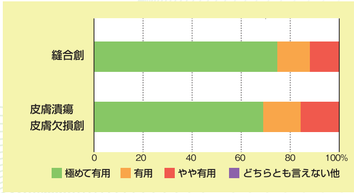
福島県立医科大学および関西医科大学形成外科をはじめとする5施設において、臨床評価をおこないました。[7),8)]

図 3. 症例別における全般改善度



中程度改善」以上が縫合創では 86.7%、皮膚潰瘍および皮膚欠損創では 82.2%となり、良好な結果が得られました（n＝159）

図 4. 症例別における総合判定有用度

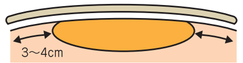


総合的有用度の判定では、縫合創では「有用」以上が 88.0%、「やや有用」以上は 100%に達し、皮膚潰瘍および皮膚欠損創縫合創では「有用」以上が 84.4%、「やや有用」以上が 100%となっています。（n＝159）

使用手順

1.サイズの選択

創部周囲の健常な皮膚を十分被覆できる大きさのもの（創部の外縁より3～4cm大きめのもの）を選びます。

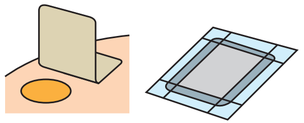


2.貼付前処置

創部を生理食塩水または精製水で十分洗浄した上で、滅菌ガーゼなどで注意深く拭き、十分に乾かします。

3.貼付

創部が中央にくるように、静かにしっかりと貼付します。このとき、粘着面に手指などが直接触れないようにします。また、必要に応じて四辺をテープ等で固定します。



4.除去

周囲の皮膚を軽く押さえながら、四隅を順に中央部へ向かって静かに持ち上げます。持ち上げた四隅を両手で持ち、注意深くはがし取ります。

5.交換

毎日貼付状況を観察し、滲出液の漏れやドレッシングのはがれが起きそうなとき、または起こったときには、直ちに新しいアブソキュアと交換します。創部にゲル残存物がある場合、十分に洗浄・除去します。滲出液の漏れやドレッシングのはがれがなく、1週間に1～2 回をめやすに交換します。（長くても1週間を限度としてください。）

6.シャワー・入浴時

貼付状況を十分に観察し、四辺が確実に皮膚に密着していることを確かめ、不十分な場合は新しいアブソキュアと交換します。また、必要に応じて四辺を防水性のテープ等で固定します。